

令和7年度

関市市民活動事例集
関市市民活動団体支援事業報告書



令和8年3月8日

令和7年度 関市市民活動団体支援事業報告会

次第

日時：令和8年3月8日（日）13：30～16：00

場所：せきてらす 多目的ホール じゆうなひろま

1. あいさつ
2. 趣旨説明
3. 活動報告

【ときめき市民活動助成金】

暮しを楽にする KuraRaku
デレゾンサッカースクール
一般社団法人 関青年会議所
待坂観音コンサート実行委員会
関刃物文化継承会
関・グローバルプロジェクトチーム

【きらめき市民活動助成金】

高齢者福祉美容療法会
関まなび研究会
特定非営利活動法人せき・まちづくり NPO ふうめらん
武芸川音楽祭実行委員会
かわまるじ
ご当地音美食音マーケット実行委員会
特定非営利活動法人洞戸村ふるさと塾

【ふるさと応援交付金】

一般社団法人 GLIP
特定非営利活動法人出逢いの森

ルール

1. この報告会は、助成金及び交付金を受けた団体が、実施した活動の成果や経験を報告し、他の市民や関係者と情報を共有する場です。
2. 発表はときめき“準備1分間”“報告3分間”“質疑応答3分間”です。きらめき・ふるさとは“準備1分間”“報告6分間”“質疑応答5分間”です。参加者の皆様は、配布した「団体への応援メッセージ」に記入してください。記入いただいたメッセージは、各団体へお届けします。

目次

ときめき市民活動助成金

暮しを楽にする KuraRaku	3
デレゾンサッカースクール	5
一般社団法人 関青年会議所	7
待坂観音コンサート実行委員会	9
関刃物文化継承会	11
関・グローバルプロジェクトチーム	13

きらめき市民活動助成金

高齢者福祉美容療法会	15
関まなび研究会	17
特定非営利活動法人せき・まちづくり NPO ぶうめらん	19
武芸川音楽祭実行委員会	21
かわまるじ	23
ご当地美食音マーケット実行委員会	25
特定非営利活動法人洞戸村ふるさと塾	27

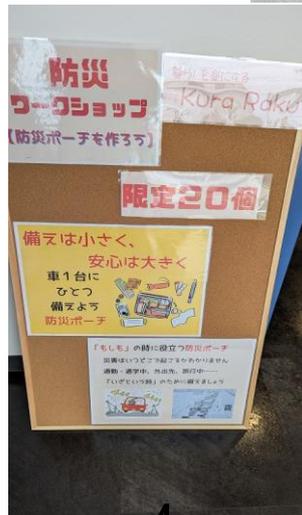
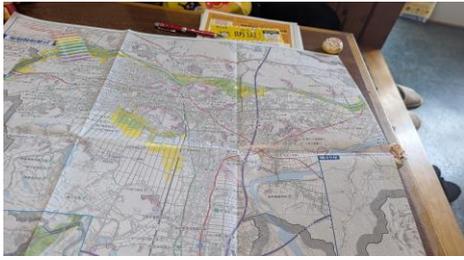
ふるさと応援交付金

一般社団法人 GLIP	29
特定非営利活動法人出逢いの森	31

※報告会開催時点では、事業費が確定していないものもございます。

市民活動団体支援事業報告書

団体名	暮らしを楽しむKuraRaku		
事業名	防災ワークショップ及びセミナー		
事業費	49,868	円	
交付決定額	49,000	円	
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>課題：災害に対する基本的な知識や危険性、非常用持ち出し袋や備蓄品の準備、非常時の家族との連絡方法などが把握されていない</p> <p>目的：防災・減災の啓発 他人ごとでは無く自分事として捉えてもらうようにする</p>		
事業概要	活動の対象者	関市民	
	活動の場所	地域のふれあいセンター・飲食店・企業(ダスキン関稲口支店)	
	事業期間	2025年 7月 1日 ~ 2025年 10月 31日	
	具体的な活動内容	<p>2025/8/29 寺子屋河辺にてワークショップ ・ハザードマップの利用方法の説明 ・備蓄品の一部を展示 ・防災ポーチの作成 関市で予想される災害の説明とハザードマップに自宅や避難所をマーキングし、周辺の危険性をグーグルマップを見ながら確認 YouTubeで過去の震災動画の視聴してもらい、家具固定の重要性を伝えた 防災ポーチの中身を確認し、利用方法を説明しながら作成</p> <p>2025/9/7 倉知ふれあいセンターで開催された「くらしみんなの広場」にて、防災ポーチの展示と説明と啓発</p> <p>2025/10/18 ダスキン関稲口支店にて開催された「ダスキンフェア」にて、防災ポーチワークショップを開催 ・YouTubeで過去の震災動画の視聴 ・備蓄品の一部を展示 ・防災ポーチの作成 動画を視聴してもらい、家具固定の重要性を伝えた 防災ポーチの中身を確認し、利用方法を説明しながら作成 備蓄品の展示を見てもらいながらの説明</p>	
事業の効果及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの活用方法を学んでもらい、家族で防災について話し合ってもらよう促すことができた ・伝言ダイヤルの利用や非常持ち出し袋や備蓄品の重要性を学んでもらった ・防災ポーチの重要性を学んでもらい、車に常備してもらよう促した <p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な事だと認識しながらも行動できずにいたが、良いきっかけができたので、家族で話し合いたいと思います ・防災ポーチはテレビなどで知っていたが、自分で材料を集めようと思うとつい面倒になっていた。材料を揃えてもらい、一つ一つ説明を聞くことができ良かった。家族の分も作りました ・震災があった時は、テレビなどを見て準備しなくてはと思ったが、時間がたち忘れていた。また防災について考えたい ・伝言ダイヤルの体験できる日があることを知らなかった。お正月に試してみたい 		
今後の取組・改善事項	<p>ワークショップを受けて数日は防災意識は高まるが、2週間後には薄れていると推測される 常日頃から意識してもらうにはどうしたらいいかが課題 防災ポーチや非常持ち出し袋、備蓄品などは定期的に見直すように伝えたが、実際に行ってもらえるかは疑問が残る</p>		
団体情報	代表者名	白石 知美	所在地 関市向陽台5-7
	電話番号	090-6597-4555	Eメール satokataduke@gmail.com
	HP	https://kuraraku-gifu.com/	



市民活動団体支援事業報告書

団体名	デレソンサッカースクール			
事業名	サッカー普及活動事業			
事業費	50,000 円			
交付決定額	50,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>近年、文部科学省の調査では、全国の小学生の「体力テストの合計点」が令和元年度（2019年）以降、男女とも3年連続で低下しており、特に20mシャトルランや上体起こし、50m走の項目で低下が見られます。また、岐阜県の小学生を対象にした8種目の体力合計点でも、コロナ禍前の水準に戻っていません。</p> <p>また、1週間に運動を420分以上行う児童生徒の割合は、令和4年度に増加したが、今だにコロナ禍前の水準は満たせていない。</p> <p>こうした背景のもと、関市でも子どもたちの定期的な運動機会の確保が急務となっています。</p>			
事業概要	活動の対象者	関市近郊の小学生（2年生～6年生）		
	活動の場所	株式会社SOT 関市関口町4丁目7-1		
	事業期間	令和7年8月1日～令和7年8月31日		
	具体的な活動内容	子どもたちに無料体験を通じてサッカーの楽しさと仲間との関わりを体験してもらい、身体的・精神的な成長を支援する。地域に根差したチームづくりを通じて、子ども・保護者・地域・企業がつながる持続可能なコミュニティの礎を築くことを目指す。		
事業の効果及び成果	<p>本事業を通じて、子どもたちに継続的な運動機会とスポーツの楽しさを提供することで、体力向上や健全な生活習慣の形成が期待できる。さらに、チーム活動やスポンサー企業との連携を通じて、地域内での雇用創出や企業広報の機会も生まれ、子ども・家庭・企業を巻き込んだ地域循環型のスポーツ環境の構築が可能となる。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>本事業を契機に、スポーツを中心とした地域交流の場を創出し、人と人、企業と地域をつなぐ新たな地域資源として育てていきたい。地元企業との連携によるスポンサーシップや雇用機会の創出を通じて、地域経済への波及効果を高め、若者や外部人材が関市に関心を持つきっかけとなることを目指す。将来的には、地域を挙げて応援できるクラブチームへと発展させ、関市の魅力発信・地域ブランド強化の一助となるよう展開していく。</p>			
団体情報	代表者名	森 有生	所在地	岐阜県関市武芸川町跡部877
	電話番号	09050041924	Eメール	
	HP	http://delesun.jp/school/		



市民活動団体支援事業報告書

団体名	一般社団法人 関青年会議所			
事業名	田んぼdeドッチ・チャンバラ合戦2025			
事業費	398,025 円			
交付決定額	50,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>関市は豊かな自然資源や刃物産業をはじめとした歴史文化を有する地域である一方、人口減少や若年層の都市部流出が進行し、地域コミュニティの希薄化や地域活力の低下が課題となっています。</p> <p>このような状況の中、子どもから大人まで幅広い世代が交流し、自然や伝統、地域資源に触れながら「関市らしさ」を体感できる機会を創出することで、地域への関心や愛着を育む取り組みが求められています。</p> <p>本事業は、関市の自然や地域資源（田んぼ、うなぎ等）を活用した非日常的な体験機会を提供することで、参加者が地域の魅力を再発見し、関市への愛着形成および定住・継続的な関わりのきっかけを創出することを目的とします。</p>			
事業概要	活動の対象者	関市在住または在勤あるいは関市に関心のある20～30代の男女とそのお子さん（小学生以上）		
	活動の場所	中池駐車場前の田んぼ		
	事業期間	令和7年7月17日 ～ 令和7年10月4日		
	具体的な活動内容	<p>本事業では、関市黒屋地区の田んぼを会場とし、地域資源を活用した体験型交流イベントを開催した。当日は、稲刈り後に水を張った田んぼをフィールドとして、10名1チーム制によるドッチボールおよびチャンバラ合戦を実施し、参加者同士が協力・競争しながら身体を動かす体験を提供した。安全対策として厚手の靴下（二重履き用ソックス）を全参加者へ配布し、終了後には散水車による簡易シャワー設備を設置し、衛生面への配慮も行った。また、関市の地域資源である「うなぎ」を活用した掴み取り体験をエキシビションとして実施し、家庭での調理体験につなげるための捌き方動画を配布した。これにより、単なるイベント参加にとどまらず、家庭内での地域資源体験の継続を促す仕組みを構築した。さらに、参加者全員に記念オリジナルタオルを配布するとともに、競技勝利チームには地域商品券（せきPay）や関市産のお米を景品として提供し、地域経済への波及効果も意識した運営を行った。</p> <p>本事業は、地域住民、協賛企業、行政、青年会議所メンバーが連携して運営を行い、「関市の自然」「地域文化」「人と人とのつながり」を体感できる非日常体験の場を創出することで、参加者の地域への愛着形成および地域コミュニティ活性化を目的とした実践的な取り組みとして実施した。</p>		
事業の効果及び成果	<p>関市の自然や地域資源（田んぼ、うなぎ）に触れる非日常体験を通じて、まちの魅力を再発見し、関市への愛着や住み続ける動機のきっかけを提供することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の体験が関市への愛着や地域に住み続ける動機を高めるきっかけになりましたか？ ➡ <input type="checkbox"/>はい：97.3% ・本事業は楽しかったですか？ ➡ <input type="checkbox"/>はい：100% 			
今後の取組・改善事項	<p>10月開催は、稲刈り後の田んぼ環境による負傷リスクや、気温低下による体調不良の可能性があるため、安全面・健康面の観点から課題があり、今後は、より安全に実施できる田植え前の4月開催が望ましいと考えます。今後は、自然に触れる機会の少ない都市部在住者への展開も視野に入れ、自然体験を通じた食育や関市の魅力発信に寄与する事業展開の可能性について検討していけたらと考えています。</p>			
団体情報	代表者名	西村健太	所在地	関市東日吉町43-1
	電話番号	0575-22-2205	Eメール	office@sekiic.or.jp
	HP	http://sekiic.or.jp/		



市民活動団体支援事業報告書

1. 事業名

第3回待坂観音コンサート

2. 事業費

50,039 円

3. 交付決定額

50,000 円

4. 活動の背景にある課題、活動の目的

歴史ある西神野の小さな無人寺を会場に地域活性化と音楽文化振興を目的とした、無料の野外音楽イベントを継続するため交付事業を活用。誰もが気軽に音楽を楽しめる場を提供し、地域住民の交流を促進する。コロナで中断した事業を将来的にも継続させたいという願い。多くの市民に存在を知ってもらい参拝者を募る。高齢者の憩いの場でもあり400年の歴史ある無人観音寺の維持貢献。

5. 事業概要・活動の対象者（受益者）

- ・関市民老若男女を対象とした音楽イベント（8バンドによる生演奏会）。
- ・特に音楽に興味のある学生、若者や生演奏を見る機会の少ない人々、音楽に携わる人々。

6. 事業概要・活動の場所

・本来は西神野の待坂観音寺境内で実施予定であったが、あいにくの雨でやむを得ず富野ふれあいセンターで実施。

7. 事業概要・事業期間

・令和7年8月1日に実行委員会を発足。実施計画やコンサート運営について協議。

・10月5日当日はボランティアとして設営運営。実施後反省会、報告書作成。10月7日報告書提出。事業期間は8/1～10/7。

8. 事業概要・具体的な活動内容

・実行委員会のメンバーはほぼ市内在住の音楽仲間で作成。

・当日の出演者、演奏時間、プログラム、スタッフとしての役割分担などについて協議。

9. 事業の効果及び成果

・会場は約60席の椅子を準備したが、立ち見客や出演者目当ての視聴者が席を入れ替わるなど概算で150名を超える大盛況となった。

10. 今後の取組・改善事項

・今年こそはお寺の境内で実施したいと願う。新しい出演者の検討と依頼。野外コンサートを前提に実施時期の検討。

11. 団体情報

待坂コンサート実行委員会 代表ロックンロールカフェ福田裕治



市民活動団体支援事業報告書

団体名	関刃物文化継承会
事業名	関刃物文化継承プロジェクト
事業費	3,660円
交付決定額	50,000円

活動の背景にある課題・活動の目的	<p><取り組む関市の課題> 「ものづくりとひとづくりのまち」として広く知られており、出荷額で全国1位を誇る産業的な側面に加え、日本刀や各種刃物製品の名産地として、文化的にも高く評価されている。しかしながら、少子高齢化・人口減少の進行により、地域産業を支えてきた職人の担い手不足が深刻化しており、産業の持続可能性が問われている。特に、関市伝統産業の中でも、明治・昭和・平成の時代に製作された刃物について、その技術や知恵、文化を記録・継承することが急務となっている。</p> <p><事業の目的> 「関市は刃物のまち」として知られているが、次世代の産業の担い手不足が深刻化しており、また、明治・昭和・平成に築かれた刃物産業の文化や製品は失われがちである。一方、「昭和レトロ」やビンテージ価値として再び注目を集めており、それらを有効活用することで、地域産業の再興や活性化につなげられる可能性がある。本事業では、明治・昭和・平成の職人や企業が築いてきた知恵と記憶を掘り起こし、次世代に伝える活動として再構築・継承を行うことで、新たな価値を創出することを目的としている。</p>
------------------	---

事業概要	活動の対象者	主に関市近隣住民
	活動の場所	関市内各所（せきてらす、岐阜関刃物会館、わかくさプラザなど）
具体的な活動内容	事業期間	令和7年8月1日～令和8年3月31日
		<p><実施済み> ①関高校探究活動「関ジモト大学」にて関刃物文化継承会の活動紹介 【実施内容】 令和7年8月1日（金）～26日（火）の期間に高校1,2年生が動画を視聴。 【実施結果】 約250名の生徒が視聴。全部で6つの動画があったがその中でも関刃物文化継承会の活動紹介が最も多く見られていた。 ②学生向けイベント「刃物のまちをもっと知ろう」 【日時・場所】 令和7年8月18日（月）、19日（火）岐阜関刃物会館、関鍛冶伝承館にて実施。 【実施内容】 講師に松田公明氏（岐阜関刃物会館事務局長）より関刃物産業の歴史や特徴について案内を実施。関市近隣の中学生、高校生、大学生14名が参加。中日新聞、岐阜新聞で取材記事の掲載があった。 ③関鍛冶たたら製鉄イベント（関鍛冶たたら製鉄実行委員会主催） 【日時・場所】 令和7年12月7日（日）19:00～17:00 せきてらす芝生ひろば 【実施内容】 令和7年度夏に発足した関鍛冶たたら実行委員会の一員としてたたら製鉄イベントのサポートを実施。12月9日中日新聞『「たたら製鉄」関で初の公開実演 異印など実行委 地元小学生ら参加』。 https://biz.chunichi.co.jp/news/article/10/118488/ 12月12日中日新聞「関市で『「たたら製鉄」関で初の公開実演 異印など実行委 地元小学生も参加』 https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/645001</p> <p><実施予定> ①関市役所の大学生対象事業「せきららゼミ（関市主催）」 【日時・場所】 令和8年2月23日（月）せきてらす、ナイフ工房横 【実施内容】 参加者数4名。本会の活動紹介、活動体験を実施予定。 大学生対象事業「せきららゼミ」-関市 https://www.city.seki.lg.jp/0000016723.html ②関刃物トークイベント 【日時・場所】 令和8年3月28日（土）鍛冶屋町屋 【実施内容】 想定参加者20名。「鍛冶町屋の会」と連携し、まちのコミュニティづくりの一環として関の刃物の歴史についてのトークイベントを実施予定。 ※鍛冶屋町屋：関市鍛冶町の築100年の空き家を改装し、地域コミュニティづくりを行う団体。大阪公立大学名誉教授 森一彦先生（関市出身）を中心に令和6年9月から活動</p> <p><その他> ①関刃物に関する文献、現物、証言の保存・情報整理・発信。 岐阜関刃物会館にて保管されている段ボール18箱分の昭和初期以降の製品を確認。関市内刃物事業者で保管されている製品の確認。（展示目的での貸出可能） その他、昭和の歴史を伝える写真、書類の整理、貴重な聞き取りも実施中。 ②アウトドアナイフづくり体験 職人との関わり、刃物づくりに触れる奇怪づくりを目的にアウトドアナイフづくり体験プログラムを提供中。11名が体験（無料） （刃物に関わる機会づくりと職人との交流が目的） ③刃物をつかった料理&食事を鍛冶町屋で随時実施。（刃物に関わる機会づくりと職人との交流が目的）</p>
事業の効果及び成果	<p>会員の増加及び文書・製品の把握が進行。 刃物産業と市民活動団体という新しい試みの認知が進み、刃物産業内外からの協力者と10代、20代の会員の活動が少しづつ増え、新たな価値づくりに向けた機運が高まった。</p>	
今後の取組・改善事項	<p>興味獲得に向けた取り組みの模索。 手軽に実施、気軽に参加できる活動案内や体験コンテンツづくり。</p>	

団体情報	代表者名	岩原勝秀	所在地	岐阜県関市小瀬1803-5
	電話番号	0575-38-3019	Eメール	sekikeishoukai@gmail.com
	HP	-		



市民活動団体支援事業報告書

団体名	関・グローバルプロジェクトチーム			
事業名	モネの池魅力向上プロジェクト ～学生×地域×企業の共創イベント～			
事業費	130,076 円			
交付決定額	50,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	モネの池はSNSなどで注目され、多くの観光客を呼び込み、関市の観光に新たな流れを生み出してきました。その一方で、観光客の滞在時間は比較的短く、周辺には休憩や飲食の場が少ないため、地域での滞在や交流をさらに深めていく工夫が求められている一方で、池を支える地域住民の高齢化や人手不足も進んでおり、多くの人を惹きつけてきた美しい景観を持続的に維持していく体制づくりが課題となっています。			
事業概要	活動の対象者	モネの池を訪れる観光客（県内外からの日帰り旅行者、家族連れ、カップル、中高年層）、訪日外国人観光客（東海圏観光ルートの一環）、地域住民（近隣市町の住民）		
	活動の場所	フラワーパーク板取		
	事業期間	令和7年10月9日 ～ 令和8年1月22日		
	具体的な活動内容	<p>本事業において、当初の計画通り2025年11月8日（土）にフラワーパーク板取において1日限定イベント「モネの池テラス」を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ製作・設置：関商工高等学校生徒と岐阜大学学生が、モネの池の雰囲気合う塗装を選びつつ、地元企業（株式会社タイムック等）の協力を得て、ベンチ2基を共同製作し、設置しました。 ・モネの池テラスイベントを実施しました。（1日限定） ・地元飲食店による出店ブース（テラスキッチン）を設置し、来訪者に地元の味を提供しました。設置（寄贈）したベンチ以外に来場者の飲食スペースとして、仮設テーブル・イス4セットを配置し滞在時間の延長を検証しました。 ・関商工高等学校生徒によるお土産販売（地域特産品、オリジナル商品）を実施しました。 ・来訪者にアンケートを行い、滞在時間やニーズ、観光資源への意見を収集しました。 ・広報活動：関市の広報誌（あんしんメール）・イベントフライヤーの製作・本イベント用Instagramアカウント等を通じて事前周知を行い、観光客や地域住民の参加を促しました。Instagramアカウントでは、Instagram広告も実施し、60km圏内の旅行に興味のある層に集中的に広告を行いました。 <p>【成果目標に対する実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者数（スタッフによるカウント）：計936名（10:00～15:00）。アンケート（シール式）：132件回収。 ・滞在時間10分以上の滞在が86%を占め、うち、30分以上の滞在者は33%でした。（シール式アンケートより集計） ・当日は、大学生7名・高校生12名による協働実施を行いました。 ・事前・事後の交流としては、岐阜大学学生と関商工考商業科のグローバル探究の生徒ら20名程度が授業内で意見交換等を行いました。 ・モネの池ファン（リピーター調査：シール式アンケートより集計）としては、訪問2回目以上が34%でした。地元野菜や洞戸キウイのいろいろの販売等も行い、その売れ行きを調査しました。 		
事業の効果及び成果	シール式アンケートの結果から、観光客（訪問者）の再来の希望について調査したところ、また来たい（イベントがあれば来たいを含む）の回答が92%ありました。一定の割合で、満足度が得られ、地域や会場となるフラワーパーク板取にとってはイベントを通じた訪問者の滞留時間の増加やそれに伴う販売促進が期待できました。また、参加した大学生は他県や他地域の学生であり、今回の取組により関市や板取地区の理解が深まりました。高校生においても、モネの池に初めて訪れた生徒も多く、関市内の観光資源の一つを支えている方々との、交流を通じて、地元への愛着を深めるきっかけにもなりました。次年度以降も、グローバルリーダー実践履修生と関商工高校及び板取地域の方々、関の地域企業の方々との連携を進めていく予定です。			
今後の取組・改善事項	改善事項としては、本年度はタイトなスケジュールで事業を実施したため、次年度以降は早めの計画（前年度からの調整）を行うことです。継続する上での課題としては、大学の選択科目での履修生を活動主体としていることです。			
団体情報	代表者名	松井 真弓	所在地	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	電話番号	058-293-2140/3236	Eメール	glocal@t.gifu-u.ac.jp
	HP	https://www.instagram.com/moneike_terrace/		

【フライヤー】



【イベントの様子】




岐阜大学
グローバル推進機構

海外への留学
本学への留学
外国人研究者の方へ
教職員の方へ
Alumni
国際交流
お知らせ
日本語・日本文化教育センター
各部門の取り組み
各プロジェクト

日本語 English



[> グローバル推進機構について](#) [> 構内マップ](#) [> アクセス](#) [> サイトマップ](#)

TOP > 国際企画部門 > 国際企画部門お知らせ > 『モネの池テラス』イベントを開催しました

『モネの池テラス』イベントを開催しました

2025.12.12

グローバル推進機構及び地域協学センターが担当する岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム・グローバルリーダーコースにおいて、学生らが「関・グローバルプロジェクトチーム」となり、2025年11月8日（土）に関市板取の「名もなき池（通称：モネの池）」周辺で地域協働イベント『モネの池テラス』を開催しました。本イベントは、モネの池における滞在時間の短さという地域課題に対し、来訪者がゆったり過ごせる場を整え、観光地としての魅力向上につなげることを目的として企画したものです。

学生らは、フラワーパーク板取、モネの池環境整備委員会、関商工高等学校、地元企業、飲食店、生産者、関市役所などを訪問し、イベント運営について調整を重ねました。また、来訪者がくつろげる環境づくりとして、株式会社タイメックの技術的な支援のもと、高校生と共同でベンチを製作しました。完成したベンチは、イベント当日に関市に寄贈し、フラワーパーク板取敷地内に設置されました。

イベントでは、岐阜大学生と関商工高校生が協働で考案した地元飲食店「しょうりゅう」のイベント限定わさびビーフ丼のほか、たこ焼き、農家による野菜やスイーツ、関商工高校オリジナル商品の販売を行いました。観光客や地域住民に非常に好評で、午前中に完売した商品も多くありました。設置したベンチも多くの来訪者に利用され、滞在時間が30分以上に延びた人も多くみられました。また、来訪者へのアンケートでは、「また来たい」と回答した人が多数を占め、来訪者がゆったり過ごせる環境づくりという当初の目的に、手応えが感じられる結果となりました。

本イベントは、地域の思いや現場の課題に触れながら、その解決に向けて主体的に取り組む実践的な学びの場となりました。本講義では、今回得られた経験を次年度以降の活動へつなげ、地域課題の発見と解決に寄与できる人材育成を一層推進していきます。



ベンチ寄贈の様子



イベントの様子

市民活動団体支援事業報告書

団体名	高齢者福祉美容療法会			
事業名	いきいきビューティープロジェクト			
事業費	761,000 円			
交付決定額	500,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>関市の要支援者が増加していること。R7に、団塊の世代のすべての人が75歳以上の高齢者となり、後期高齢者が益々増加すること。介護サービスを含む高齢者ケアの需要が増加・多様化すると予想されることから、いつまでも笑顔で元気な高齢者でいてもらうために美容療法を開催する。関市の高齢者のフレイルを美容療法で予防する。高齢者の生きがいを作り出し、高齢者の健康寿命を延伸させる。美容療法で脳を活性化させ、身体を動かすことでQOL, ADLをアップさせる。キレイになる事で周りとの交流し、笑顔が増える。そして出かけたくなる。介護する人の負担を軽減することなどを目的に開催した。</p>			
事業概要	活動の対象者	市内高齢者（男性も同様に楽しめる）		
	活動の場所	市内高齢者施設、高齢者の集まる所		
	事業期間	令和7年 5月 1日 ～ 令和8年 3月 31日		
	具体的な活動内容	<p>関市の高齢者施設を1件ずつアプローチし、美容療法をご理解いただく。施設様と日程調整をして事前打ち合わせの後に開催する。全行程50分で行う。開催1時間前に入館、参加人数、介護度の応じて会場の形式を変える。福祉美容師、介護福祉士、美容師の資格を有する三浦が、適宜高齢者に声をかけながら進行する。実施の流れ、初めにご参加の方とコミュニケーションしながら、開催時間となったら挨拶から始める。まずお化粧品に必要な筋肉のストレッチ、手指消毒、鏡を立て、エプロンなど身支度を整える。クレンジングシートで顔を拭き取り、美容液でマッサージと口腔ケアをした後、下地、ファンデーションを塗布。ファンデーションは、簡単にキレイにつける方法を楽しみリズムで行う。次に眉を描く。形を描いたり、色を選ぶ事で脳を活性化させる。次に口紅を選びつける。華やかになり、交流が活発になる。笑顔が増え、話が弾む。周りの方と褒めあう事で笑顔が増える。介護度に合わせて写真撮影。美容療法終了後、その場で美肌モードにセットしたプリンターでプリントアウトしプレゼントする。</p>		
事業の効果及び成果	<p>高齢者のフレイル予防につながった。キレイになって笑顔が増え、心も元気になり健康寿命の延伸につながった。美容をきっかけに、高齢者施設の利用者とその家族、スタッフの交流が図られた。施設スタッフも合わせて楽しみ、美容療法の効果を感じて関心を持つ方が増えた。アンケートでは、嬉しいコメントをたくさんいただき、有用性を強く感じた。開催件数36件目標は達成見込み。参加者アンケートからまた開催して欲しいという項目は、100%の回答であった。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>美容を通じた高齢者支援を継続するため、運営費確保と活動拡大を目指します。運営費は、高齢者を応援する個人・企業からの寄付で賄い、同時に活動の認知度を高めます。寄付者には「身だしなみ・美容講座」を贈呈し、美容体験と交流の機会を提供することで、美容への関心を深めていく。活動範囲としては、重度介護者への「介護美容」実現に向けた挑戦や、自治体・社協と連携したアクティブシニア向け「介護予防美容の会」の開催を検討。</p>			
団体情報	代表者名	三浦みよし	所在地	関市大平町1丁目32-7
	電話番号	070-9211-1183	Eメール	sekisb1183@gmail.com
	HP			

活動写真



市民活動団体支援事業報告書

団体名	関まなび研究会
事業名	プログラミング教室
事業費	331,714 円 見込み
交付決定額	120,000 円 見込み

活動の背景にある課題・活動の目的	<p>今後の学習や将来の仕事で、それを細分化して段取りを考えて取り組み、改善を繰り返して、よりよい成果をあげるというプログラミング的思考が大切である。今の子供たちにとって、それを育みさらに伸ばしていくことが必要である。そのために、「プログラミング教室」を開き、学校では不足しがちなプログラミングで試行錯誤し課題解決の時間を確保し、「自分で考え動かす」経験を十分にさせたい。また、小中学生の休日の過ごし方、高齢者の生きがいを考慮し、居場所の一つとなりたいと考えている。これらを踏まえて、活動の目的を「プログラミングの楽しさを味わい、プログラミング的思考を伸ばす。あわせて、子どもたちの居場所づくり、高齢者の生きがいと居場所づくりの一助とする。」とした。</p>		
事業概要	活動の対象者	関市内の小中学生	
	活動の場所	せきてらす「刃物工房」	
	事業期間	令和7年5月1日～令和8年2月28日	
	具体的な活動内容	<p>第1回 令和7年5月31日(土)10:00～11:30 参加者25人、欠席1人 micro:bit初級教室(はじめてのじゃんけんゲーム)</p> <p>第2回 令和7年7月5日(土)10:00～11:30 参加者22人、欠席4人 低学年: 1マス2マス、左右の向きでプロットカーをゴールまで走らせよう! 高学年・中学生: 進む距離と回転する角度を測って、プロットカーをゴールへ!</p> <p>第3回 令和7年9月6日(土)10:30～12:00 参加者24人 サーブ・プログラミングカーで壁を避けて、迷路を脱出しよう!</p> <p>第4回 令和7年10月18日(土)10:00～11:30 参加者21人、欠席2人 iPadをリモコンにしてサーブ・プログラミングカーでレースをしよう!</p> <p>第5回 令和7年11月29日(土)10:00～11:30 参加者21人、欠席3人 プロットカー裏面のLEDを光らせて、きれいなハウスにしよう!</p> <p>第6回 令和8年1月10日(土)10:00～11:30 参加者24人、欠席2人 サーブ・プログラミングカーを操縦して、そのアームでお宝をゲットしよう!</p> <p>第7回 令和8年2月15日(日)10:00～11:30 参加者24人(予定) ペンを挿したプロットカーを走らせて、きれいな模様を描こう!</p> <p>※「プログラミング教室」は7回実施され、約160人が参加した。 ※各回に、ボランティアとしてアクティブGメン♪75から6・7人が参加された。</p>	
事業の効果及び成果	<p>○1～4回、6回のアンケートのべ回答者(低54人 + 高62人=116人)の声は、 「とても楽しい・楽しい」: 115人 「あまり楽しくない(機械の調子が悪くて)」: 1人 「何度も直して」: 82人 「直して走らせた」: 33人 「直して走らせなかった」: 1人(同上) 「次回、とても参加したい」: 112人 「わからない」: 2人 「参加したくない」: 2人(同上・?)</p> <p>・「いっぱい成功して楽しかった。」・「自分で考えるのが楽しかった。」・「またやってほしい。」・「試行錯誤するのがおもしろかった。」・「自分で自由にプログラミングができてうれしい。」・「成功したとき、みんなが喜んでくれて嬉しかった。講師のアドバイスで自信がもてた。」</p> <p>○各回、20人以上の参加があり、研究会のメンバーやボランティアのアクティブGメン♪75のみなさんと関わったり、保護者の方々と関わり、一緒に考えながら、最後まで何度も修正して楽しく動かすことができた。何度もプログラムを修正して挑戦することで、プログラミング的思考が育まれたと考えている。</p> <p>○学校以外の場でもプログラミングを楽しむ体験ができ、それを通してプログラミング的思考を育み伸ばす土壌を広げることができた。</p>		
今後の取組・改善事項	<p>楽しくプログラミング的思考を育み、子供たちや高齢者の方々が居場所として選んでもらえるよう、講座内容を更新していく。プログラミングの経験値、校種、学年を考えて、より高度な内容の講座を設定したり、更にだれでも楽しめる内容の講座を考えたりしていきたい。今後も、年間6～8回を目安に、より楽しい「プログラミング教室」を開催していきたい。</p>		

団体情報	代表者名	後藤 和男	所在地	関市大平町1丁目2番地
	電話番号	080-3073-0724	Eメール	seki.manabi.kenkyukai@gmail.com
	HP	https://sites.google.com/view/s-manabi-ken/		

市民活動団体支援事業報告書

団体名	特定非営利活動法人せき・まちづくりNPOふうめらん			
事業名	若者が作る関市の魅力発信コミュニティの創出事業			
事業費	689,889 円			
交付決定額	459,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>関市の人口減少の問題、特に若者離れの課題に対し、若者自身が地域の魅力を知り、それを若者に向けて情報発信することで、若者が戻りたくなる街を作る。そして、地域のことを発信したい若者のコミュニティを創出する。</p> <p>関市の人口減少の問題 岐阜県関市は人口89,538人(平成29年11月1日現在)。2005年をピークに減少に転じており、特に生産年齢人口は2010年57,702人でしたが、この14年間で48,226人(関市データダッシュボード、2024年5月より)に減少している。人口減少に伴う地域課題(担い手不足による黒字倒産、地域の担い手不足など)が多く散見されるようになってきた。さらに、2040年には39,676人にまで減ることが予想されており、この課題は喫緊の課題となってきた。</p> <p>関市の若者離れの問題 年齢別の純移動率(人口総数に対する5年間の社会動態による人口増減数の率)を見ると県内同規模自治体に比べ20代、30代の人口流出が大きいことが分かる。(関市人口ビジョン(改訂版)、2020年3月より)</p>			
事業概要	活動の対象者	<ul style="list-style-type: none"> o 製作者：関市に住む高校生・大学生・若手社会人(40歳以下) o 視聴者のターゲット：関市外に住むUターン希望の若者(40歳以下) 		
	活動の場所	関市内		
	事業期間	2025年 5月 1日 ~ 2026年 2月 28日		
	具体的な活動内容	<p>本事業は、累計発行部数720万部のフリーマガジン「ふうめらん」で培ったノウハウを活かし、高校生・大学生・社会人(40歳以下)とともに、SNS(TikTok・Instagram・YouTube)を活用して関市で暮らし、働く魅力を同年代に発信する取り組みを実施します。また、地域情報を発信するスキルを若者に伝え、より多くの若者が地元情報を得られるような仕組みを作ります。</p> <p>【発信内容】 下記の若者がUターンする際に知りたい情報を若者が若者目線で発信します。 o 暮らしの魅力 ・グルメ、お出かけスポットの紹介(リールや月や週のイベント情報のフィード投稿) ・関市に暮らす人へのインタビュー ・コミュニティ活動紹介(市民団体を紹介) o 仕事の魅力 ・地元企業のお仕事紹介(職場について行っていいですか?)</p> <p>【実施内容】 o 若者が地元企業5社、市民団体3団体と連携し、インタビュー・撮影を実施。合計15本のショート動画、38本のフィード投稿の合計53本を制作、投稿。 o 大学生からの「関市のおすすめグルメの一覧」が欲しいという意見から、ふうめらんの公式LINEにて、計グルメ診断を投稿。 o 高校生の発案で、武芸川の名産の「つるむらさき」の収穫から調理までのYouTube動画を作成。</p>		
事業の効果及び成果	<p>TikTokは、44.7万回視聴。Instagramは、23.7万回視聴を獲得。実際に、5名の方から実際にふうめらんのイベント情報を使っているとお声を頂く。</p> <p>20代の2名の移住者が、移住した後に地域と繋がるツールとして使用していた。このアカウントに関わりたいたいということで、2月から関わってもらうことになった。「関市って何にも無いよね。」「情報って中々出てこない」という人に向けて、このアカウントを紹介することができ、関市の魅力の向上に寄与している。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>企画を1から考える大変さがあり、更新頻度をもっと増やしたかったができなかったという課題があった。今後は、より本数を増やしていくために、シリーズ化の確立をしていく予定。 頑張るせきのじんを紹介する「突撃!おまハンター」 関市の働く姿を紹介する「仕事についていいですか?」 地元のグルメを紹介する「ジモめし」 これらを柱に今後も運用していく予定。</p>			
団体情報	代表者名	浅野欽一郎	所在地	岐阜県関市本町6-24
	電話番号	0575-46-8035	Eメール	info@vousmelan.com
	HP	https://vousmelan.com/		



Instagram



YouTube



TikTok



つるむらさきの紹介動画



撮影風景



各種SNSはこちらから

市民活動助成金報告書

団体名	武芸川音楽祭実行委員会			
事業名	第2回武芸川音楽祭			
事業費	842,643 円			
助成金交付額	500,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>関市武芸川町では、あまり音楽イベントが開催されておらず、地域住民の人が音楽（特にジャズや演歌など）の生演奏に触れる機会が少ない。 武芸川に関係する人々による演奏会を行なうことで、住民の皆様が音楽に親しんでいただくとともに、地元ファンの増加に寄与すること。また音楽を通じて地域と出演者相互の親睦を図ることを目的とする。</p>			
事業概要	活動の対象者	関市民ならびに武芸川町に隣接する地域の皆さん		
	活動の場所	武芸川生涯学習センター 大ホール		
	事業期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年7月31日		
	具体的な活動内容	<p>武芸川町小知野の住人 磯野博宗氏が関係する4バンドを招待し、地元バンド8団体に出演いただいた。招待バンドは、1) Jazz Heats Orchestra (各務原) 2) SJC Jazz Orchestra (岐阜) 3) Forest (岐阜) 4) 青山和樹 (関市板取) であった。また、地元バンドとしては8バンドの出演を得た。地元バンドは1) 武芸川ジュニア吹奏楽団 2) 田中裕之 3) 梅茶漬け 4) 音楽集団Largo 5) Rui & Yuto 6) Next Rose 7) はなちゃんバンド 8) 宮木公香 x 志太郎-yukitaro- 地元バンドは30分。招待バンドは1時間1時間（出入り含む）の枠内でそれぞれのバンドの持ち味を発揮していただいた。総合司会は、今回も荘加あきさんにお願ひしました。 総観客数 のべ3000名の皆さんに楽しんでいただいた。 途中、関市のキャラクター「ぼう」も登場して会場を盛り上げていただきました。</p>		
事業の効果及び成果	<p>当日は、どの時間も満員のお客様に来ていただき、大変喜んでいただけた。のべ12団体の出演であったが、当日券1500円は安いと言って下さるなど、会場に来られた方は満足されていた。朝から夕方まで通して見てくださったお客様も多く、楽しみにしてきたと満足げな様子であった。昼間の会場は晴天になり、外気温が30度を超えるなど大変暑い日であったが、熱中症にかかる人も無く、無事に終了することが出来た。 出演者も皆さん大変喜んでいただきました。また、関市のキャラクター「ぼう」が来てくれて会場を盛り上げていただきました。来年も開催してほしいというお客様の声が多く、大成功に終わりました。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>*熱中症の対策を施したが、水分や塩飴などを用意して誰も熱中症にかかる人がなかった。*昨年は音響 (PA)や照明課題があったが、プロの業者の方をお願いして、ビジュアル的にも楽しんでいただけた。*キッチンカーにも来ていただいたが、2台とも売り切れとなった。*8時間という長丁場だったが、再入場も可能にするなどお客さんも好きな団体を見ることができた。</p>			
団体情報	代表者名	磯野博宗	所在地	関市武芸川町小知野226-1
	電話番号	090-6517-0967	Eメール	isono2586jp@gmail.com
	HP	なし Facebook「武芸川音楽祭実行委員会」		



会場入り口



関市キャラ「ぶう」も登場



武芸川ジュニア吹奏楽団



音楽集団Largo



Rui & Yuto



Jazz Heats Orchestra



Forest



はなちゃんバンド



大変多くのお客様にご覧いただきました



当日のチラン



中田裕之



梅茶漬



Next Rose



SJC Jazz Orchestra



青山和樹



宮木公香 x 志太郎-yukitaro-



関市キャラ「ぶう」

市民活動団体支援事業報告書

団体名	かわまるじ			
事業名	かわまるじ (空き家DIY一般市民と学ぶ)			
事業費	780,986 円			
交付決定額	500,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	超高齢化社会から超超高齢化社会に突入している時代、一方では、空き家も益々増え続ける。空き家になる原因は、何故か・・・放置した空き家には近隣住民に不安がかたより、日々の暮らしの中で深刻な問題である。空き家になる原因としては、数多くの問題点があるが、時代背景の中で、住みにくい環境下になっている事や、所有者不在などがある。			
事業概要	活動の対象者	空き家改修したい人、DIYに興味ある人、懐かしい時代を学びたい人		
	活動の場所	関市南貸上5-5		
	事業期間	令和7年 5月 1日 ~ 令和8年 1月 15日		
	具体的な活動内容	空き家となった建物で、素人（一般市民と）DIYを行うことを目的として、各作業には講師を依頼し、職人の作業を聞き指導を仰ぐ。毎回テーマを決めながら、楽しく行い、作業後に座談会を行い、普段の生活の中で気になる事や、建物修繕方法や、材料購入について、コスト面を抑える工夫や、作業方法について学ぶ。また、古い建物を見て感じる事など知りながら、昭和時代の暮らしについても、学び、古き良き時代の生活の発見についても共有する。近隣との環境改善の小さなことから行い、若い世代が、高齢者の助け合う居場所を応援する。		
事業の効果及び成果	空き家改修ワークショップは、物を大切に作る心と持続可能な暮らしへの意識を高めました。参加者間の自然な対話を促し、世代を超えた交流を創出。空き家の再利用と美化活動を通じて地域コミュニティを活性化させ、移住者を含む老若男女が共に「明るい街づくり」に貢献する機会を提供しました。 活動が進むにつれて、建物の変化が地域住民にも分かりやすく伝わり、「綺麗になった」「変わったね」といった声と共に立ち止まって会話が生まれるなど、自然な交流が促進されました。また、自宅の相談や些細な悩み事が話せる井戸端会議のような場としても機能しました。			
今後の取組・改善事項	今後も継続することとして行い、建物内部もとより、敷地全体や地域活動に応援したり、無理のない程度から始め、可能性ある空き家には、多くの市民と共に興味ある参加者をつのり、新しい用途活用が出来る空き家再生を行いたいと思っています			
団体情報	代表者名	田口 智樹	所在地	関市広見1550-3
	電話番号	かわまるじ	Eメール	tomoki.1972@icioud.co.jp
	HP	関情報局にて活動内容発信		



市民活動団体支援事業報告書

団体名		ご当地美食音マーケット実行委員会		
事業名		関市カウントダウンライブ		
事業費		802,228 円		
交付決定額		500,000 円		
活動の背景にある課題・活動の目的		<p>課題:関市では、進学や就職を機に多くの若者が市外へ流出しており、若年人口の減少が進んでいる。特に、年末年始など若者が帰省する時期においても、同世代が集い、交流し、楽しめる場が少ないという課題がある。その結果、帰省中であっても地域との関わりが希薄になり、関市に対する愛着や将来的なUターン意識が醸成されにくい状況にある。</p> <p>目的:本事業は、年末年始に帰省する若者が自然と集い、交流し、楽しめる機会と場を創出することを目的とする。若者同士のつながりを生み出すとともに、関市の魅力を再認識してもらうことで郷土愛の醸成を図る。また、帰省をきっかけとした継続的な関市との関わりを生み出し、将来的なUターンの促進や地域の活性化につなげていく。</p>		
事業概要	活動の対象者	関市出身の若者		
	活動の場所	中濃交通の前の道路 関市本町6丁目		
	事業期間	2025年 5月 1日 ~ 2026年 1月 31日		
	具体的な活動内容	<p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日時: 2025年12月31日(火) 18:00~24:00 ・ 実施場所: 中濃交通の前の道路 ・ 活動内容: <ul style="list-style-type: none"> ○ 12組のインディーズアーティストによるライブ演奏 ○ 3店舗の地元キッチンカーによる飲食提供 ○ イベントの様様をYouTubeライブ配信 <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者数: 累計700人 ・ ライブ配信再生数: 911回再生(2026年2月9日時点) ・ 参加者の反応: SNSでアーティストの写真と共にシェアが行われ、オンライン上でもイベントの反響が見られた。 		
事業の効果及び成果		<p>本事業の実施により、関市ゆかりのアーティストが出演したことで、市内外から多くのファンが来場し、若者を中心としたにぎわいが生まれた。</p> <p>また、同世代の交流や地域に触れる機会を通じて、関市の魅力を再認識するきっかけとなり、郷土愛の醸成につながった。これにより、関市との継続的な関わりや将来的なUターン意識の向上が期待される。</p>		
今後の取組・改善事項		<p>本事業は、年末年始という開催時期の特性を活かした取り組みとして、今後も継続して実施していきたい。次回以降は、より多くの来場者を迎えられるよう規模の拡大を図るとともに、人通りの多い場所での開催を検討し、さらなるにぎわいの創出につなげていきたい。</p> <p>また、カウントダウンライブを関市の年末年始を代表するイベントとして定着させることを目指し、内容や演出の充実を図る。あわせて、参加者アンケート等を活用し、ニーズや意見を次回以降の企画に反映させることで満足度の向上を図るとともに、若者が主体的に関われる仕組みづくりを行い、将来的なUターン促進や地域活性化につながる事業として発展させていく。</p>		
団体情報	代表者名	吉田幸志	所在地	関市観音前41番地
	電話番号	9078631506	Eメール	s-yoshida@sekimilk.co.jp
	HP			

活動の様子



SEKI COUNT DOWN SPECIAL LIVE

協賛金並様 (順不同)

両面表示	丸吉屋司	大野新音	白鳥大吾
(左) 山崎 1/F1	(右) 東山屋	7/25 中野	
(左) 山崎 2/F	7/26 中野	(右) 山崎 2/F	
(左) 山崎 3/F	7/27 中野	(右) 山崎 3/F	
(左) 山崎 4/F	7/28 中野	(右) 山崎 4/F	
(左) 山崎 5/F	7/29 中野	(右) 山崎 5/F	
(左) 山崎 6/F	7/30 中野	(右) 山崎 6/F	
(左) 山崎 7/F	7/31 中野	(右) 山崎 7/F	
(左) 山崎 8/F	8/1 中野	(右) 山崎 8/F	
(左) 山崎 9/F	8/2 中野	(右) 山崎 9/F	
(左) 山崎 10/F	8/3 中野	(右) 山崎 10/F	

市民活動団体支援事業報告書

団体名	特定非営利活動法人洞戸村ふるさと塾			
事業名	モンタスPJ (プロジェクト)			
事業費	716,280 円			
交付決定額	477,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>洞戸地区においても、急速に進む人口減少と高齢化により地域資源の継承が困難を極める中、復興の礎とも言える地域への愛着や誇りさえも失われつつあります。この状況を打開すべく、奈良時代から「信仰の里」として多くの人々が訪れた洞戸高賀地区の歴史を活かし、キャラクター漫画という親しみやすい媒体で地域の魅力を発信することで、愛着と誇りの次世代への継承を図ります。</p> <p>加えて、関連商品を開発し、漫画の拡散と商品販売の相乗効果を生み出すことで、地域の活性化と復興を目指します。</p> <p>今期は本事業のスタートアップの年と位置づけ、地域振興を担う諸団体や個人と連携し、漫画制作や商品の試作を通じて事業の具現化に取り組みます。</p>			
事業概要	活動の対象者	洞戸の振興を担う団体、個人 ・ キャラクターに惹かれる不特定多数の支持者		
	活動の場所	関市洞戸地域 ・ ネット上		
	事業期間	令和7年 5月 15日 ～ 令和8年 3月 31日		
	具体的な活動内容	<p>洞戸高賀地区の伝説に登場する妖魔「さるとらへび」をキャラクター化し、Web漫画を通じて地域の歴史や魅力を現代的な視点で発信します。</p> <p>開発する関連商品にQRコードを搭載し、Web漫画への動線を確認することで、コンテンツの拡散と物販の相乗効果を創出。これにより、持続的なビジネスモデルを構築し、地域経済の活性化と復興を推進します。</p> <p>今期の成果として、漫画については地区の文化的資源を軸とした全6話を制作。商品開発においては、地域住民や諸団体との協働によりキーホルダー、3Dエリアマップ、菓子類等の試作を実施しました。また、関市登山大会との連携による高賀山頂へのオブジェ設置が大きな反響を呼んだほか、洞戸観光ヤナでの顔出し看板設置も具体化するなど、地域を挙げた展開を加速させています。</p>		
事業の効果及び成果	<p>漫画という親しみやすい情報発信ツールを提示し、地域の各主体へ連携を呼びかけたことで、地域復興に対する共通認識が深まり、参画への意欲向上が見られました。</p> <p>これまで接点の少なかった諸団体の事業が、キャラクター「モンタス」を介して繋がりが、新たな連携事業や相乗的な宣伝効果を生み出し始めています。</p> <p>何より、キャラクター自体への高い評価が数多く寄せられており、今後のさらなる事業展開に向けた大きな手応えを得ることができました。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>今後はより戦略的な広報活動を展開し、関係団体や個人との連携をさらに強化します。</p> <p>現状、漫画の知名度向上に課題があるため、既存の成功事例を分析し、より効果的な広報戦略を立案します。内容についても、現在の「解説」を主体とした構成から、より引きの強い「娯楽 (エンターテインメント)」要素を取り入れた物語へと進化を図ります。</p> <p>加えて、連携先との協働による本格的なキャラクター商品の量産化と、販売促進活動を本格化させ、地域経済への貢献を目指します。</p>			
団体情報	代表者名	後藤 徹	所在地	関市洞戸菅谷198-2
	電話番号	0581-58-8141	Eメール	furusato-j@horado.com
	HP	http://www.horado.com/		

※ NPO法人洞戸村ふるさと塾とは

「もう、過疎化は止められない」と言われる関市洞戸地域で、一筋の光明を見いだせないかと、あがき楽しむNPOです。

一緒にあがいてみたいと思われたあなた。この手応えのある挑戦を共に楽しみましょう。そんなあなたと出会えることを楽しみにしています。



猿虎蛇伝説をモチーフにしたweb漫画



高賀山頂オブジェクト
(イベント連携)



コースター
(木工所連携)

トートバッグ+缶バッチ(喫茶店連携)

市民活動団体支援事業報告書

団体名	一般社団法人GLIP			
事業名	関市のみらいお化けを探そう			
事業費	324,204 円			
交付決定額	160,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>子どもたちが自らの視点でふるさとを観察し、地域の課題や不安をお化けに表現することで将来への危機感を自分のこととして捉えることができる。 お化け退治(共存)活動を通してSDGsが身近な問題であることを自覚し、持続可能な住みよい魅力あるふるさとづくりのために子どもたち自身が地域に貢献すること。 子どもたちが豊かな発想力を発揮し、困難な課題を克服する力を養うことでふるさとへの意識を強く持つことができる。 この活動を通じて子どもたちが関市をより好きになり、関市に住み続けたい、関市で働きたい、という気持ちを持つことによる人口減少化の対策を目的としている。</p>			
事業概要	活動の対象者	関市内の3年生から6年生の小学生および中学生		
	活動の場所	関市		
	事業期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 12月18日		
	具体的な活動内容	<p>子どもを主人公に、『関市×SDGsお化けを探そう!』をテーマとして実施した。市内の小中学生約5,000名を対象に、地域課題をお化けに表現した作品を募集したところ66作品の応募があり、2作品を表彰した。 優秀作品の選定は、関市内の高校生を中心として行った。 また作品の募集については、事前に教育委員会と折衝し理解を得たことで、各学校へ募集意図が明確に伝えられ、子どもたちが地域に対する同一テーマに向き合い価値観を共有し関係性を深められた。 表彰式は、刃物まつりで賑わう本町通り「本町プラッツ」で実施した。 入賞者に加え、ご家族や学校の先生方も来場され、和やかな雰囲気の中に終わることができた。 また、市役所アトリウムの「協働スペース」に入賞作品のパネルと、応募された全作品のファイルを約1ヶ月展示し、市役所への来客者に披露した。</p>		
事業の効果及び成果	<p>本企画の実施により、地域の課題について家庭や学校で話し合いがもたれた。子どもたちがSDGsの17の国際目標を地域課題に置き換え、その解決のために柔軟に協議し、今よりも住みやすいふるさとづくりを考え、地域を支える人材に成長することが期待される。子どもたちが豊かな発想力を発揮し、困難な課題を克服する力を養うことでふるさとへの意識を強くすることが若者たちのUターンへの布石となり、関市の人口減少化の対策への足がかりとなる。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>毎年、対象となる子どもたちが少しずつ入れ替わることで、常に新しい発想が生まれる。学年や校区の枠を越えた「お化けサミット」での交流が、子ども中心のコミュニティへと発展し、市民の地域への意識を高めていく。関市で回を重ねこの活動を実施することと、他の自治体での実施をすすめ、子ども同士の交流がはかれるよう進めていきたい。</p>			
団体情報	代表者名	栗山一郎	所在地	岐阜市京町2丁目7番地
	電話番号	090-8735-8973	Eメール	glipclip@gmail.com
	HP	https://glipclip.jp		

市民活動団体支援事業報告書

団体名	特定非営利活動法人 出逢いの森			
事業名	猫のかけがえのない命を救うことで地域とともに優しい社会をつくりたい			
事業費	2,226,000 円			
交付決定額	2,226,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>【取り組む関市の課題】 野良猫問題、多頭飼育問題</p> <p>【事業の目的】 今まで、犬を専門に保護をしておりましたが、猫の保護活動もはじめます 猫の保護、譲渡、TNR活動、ボランティアの育成と支援をおこないます。</p>			
事業概要	活動の対象者	猫で困っている関市地域住民		
	活動の場所	岐阜県関市全域		
	事業期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 1 0 日		
	具体的な活動内容	<p>令和7年 4月 猫の飼育施設改修工事 令和7年 5月 ケージ等備品の購入、広報活動開始 令和7年 6月 猫のボランティア募集開始 令和7年 7月～ 随時：猫の保護活動開始 令和7年 12月～ 毎月第4日曜日：猫の譲渡会を開催</p> <p>TNRを実施した猫の数・・・12匹 保護した数・・・6匹 猫の譲渡会の参加者・・・29名/3ヶ月 譲渡した数・・・3匹</p>		
事業の効果及び成果	<p>TNRをおこなったことにより、地域住民より安心の声をいただいた。 「救出した仔猫は、すくすくと兄弟で育っています。最初は非常に警戒心が強かったが、今はだいぶ受け入れてくれるようになりました」 譲渡先の里親さんからも喜びの声をいただいた。 「保護猫を迎えたことによって、家族の笑顔が増えた」</p>			
今後の取組・改善事項	<p>猫の情報発信力がまだ弱いので、更新頻度や内容を改めて今後の発信をしていきたい。 譲渡会等で仔猫に興味をもつ人はいるが、保護した成猫へのお声かけがまだないので、改善が必要と考えている。</p>			
団体情報	代表者名	代表理事 渡邊 英毅	所在地	岐阜県関市小瀬高井坪872番地7
	電話番号	0575 - 46 - 8965	Eメール	deaimori-post@deaimori.com
	HP	https://deaimori.com/		

